

氏名	職名	学位
加藤 順一	教授	博士（法学）

担当科目	日本史概説Ⅰ・Ⅱ、日本史特論Ⅰ・Ⅱ、埼玉・川越の歴史と文化、文化政策論 法学の基礎（スポーツマネジメント学科）、総合演習Ⅰ・Ⅱ、卒業研究Ⅰ・Ⅱ 歴史、日本文化史、日本国憲法（スポーツマネジメント学科）
研究分野	日本政治史、日本法制史
所属学会	法制史学会、史学会、三田史学会、慶應法学会

学会および社会における主な活動
富士見市市庁舎整備検討審議会委員（会長） 富士見市入札監視委員会委員
主要研究業績
本年度は特になし
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
本年度は特になし

氏名	職名	学位
金原 由紀子	教授	博士（人文科学）

担当科目	「アートマネジメント」、「美術」、「西洋文化史」、「美術史 C（西洋）」、「西洋美術史」、「美術論」、「世界史特論 II」、「博物館概論」、「博物館実習」、「総合演習 I」、「総合演習 II」、「卒業研究 I」、「卒業研究 II」
研究分野	イタリア中世および初期ルネサンス美術史
所属学会	美術史学会、地中海学会、西洋中世学会

学会および社会における主な活動
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地中海学会 常任委員および講座企画委員（令和3年度～）</li> <li>・平成31年度～令和2年度 日本学術振興会 科学研究費委員会専門委員</li> <li>・美術史学会第75回全国大会参加（令和4年5月）</li> <li>・西洋中世学会第13回大会参加（令和4年6月）</li> </ul>
主要研究業績
<ul style="list-style-type: none"> <li>・山中弘、芦名定道ほか編、『キリスト教文化事典』（共著）、丸善出版株式会社、令和4年8月</li> </ul>
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
なし

氏名	職名	学位
木村 光太郎	教授	修士（法学）

担当科目	社会思想Ⅰ・Ⅱ、西欧政治思想史、社会学概論、哲学、コース演習Ⅰ・Ⅱ、総合演習Ⅰ・Ⅱ、卒業研究Ⅰ・Ⅱ
研究分野	現代社会論、民主主義論、政治社会学
所属学会	日本政治学会、政治思想学会、医学哲学・倫理学会

<b>学会および社会における主な活動</b>	
NPO 法人「子ども大学かわごえ」理事	
<b>主要研究業績</b>	
なし	
<b>文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績</b>	
なし	

氏名	職名	学位
小林 和久	教授	社会学修士

担当科目	社会心理学Ⅰ・Ⅱ、組織コミュニケーション論、コース演習Ⅰ・Ⅱ、総合演習Ⅰ・Ⅱ、卒業研究Ⅰ・Ⅱ、キャリア演習Ⅲ・Ⅳ、教育心理学、介護等体験事前指導Ⅰ・Ⅱ、教職実践演習
研究分野	社会心理学、性格心理学、教育心理学
所属学会	日本心理学会、日本社会心理学会、日本パーソナリティ心理学会、日本教育心理学会、日本説得交渉学会、アジア社会心理学会、日本SCT学会

学会および社会における主な活動	
<p>日本社会心理学会第63回大会参加（京都橘大学：令和4年9月）</p> <p>日本パーソナリティ心理学会第31回大会参加・発表（沖縄県市町村自治会館：令和4年12月）</p>	
主要研究業績	
<p>『文章完成法テスト反応文の変化にみる大学生の心理的発達』日本パーソナリティ心理学会第31回大会発表論文集 P133.（ポスター発表） 令和4年12月</p>	
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績	
なし	

氏 名	職 名	学 位
小林 正英	教授	博士（法学）

担当科目	地域研究（欧州）、国際政治史、現代の国際社会、 公共政策演習（地域研究欧州）、公共政策応用演習（国際政治史）、 基礎演習 I/II、コース演習 II、総合演習 I/II、卒業研究 I/II 国際機構論研究（大学院）、国際問題研究（大学院）
研究分野	国際関係論、欧州統合論、安全保障論
所属学会	日本国際政治学会、日本 EU 学会、国際安全保障学会、日仏政治学会 グローバル・ガバナンス学会

<b>学会および社会における主な活動</b>	
日本国際政治学会国際統合分科会幹事 討論「統合と周縁」国際政治学会 2022 年度研究大会国際統合分科会 2022 年 10 月 29 日。 シンポジウム登壇「EU からみたユーラシア秩序」政策情報学会第 18 回研究大会 2022 年 11 月 18 日	
<b>主要研究業績</b>	
「集団防衛と集団安全保障」広瀬佳一編『NATO（北大西洋条約機構）を知るための 71 章』 明石書店 2023 年 2 月，54-57 頁。 「アルメル報告」同上、79-82 頁。 「EU の CFSP・CSDP のはじまりと NATO」同上、108-111 頁。 「パートナーシップ」同上、112-115 頁。 「EU との新たな関係」同上、326-329 頁。	
<b>文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績</b>	
なし	

氏名	職名	学位
莊 発盛	教授	博士(経済学、大阪大学)

担当科目	<p>春学期： 基礎演習（火4）、卒業研究Ⅰ（水4）、経済学の基礎（金2）、ミクロ経済学（金3）、総合演習Ⅰ（金4）</p> <p>秋学期： プレゼミ（火3）、卒業研究Ⅱ（水4）、経済学の基礎（金2）、環境経済学（金3）、総合演習Ⅱ（金4）</p> <p>大学院： ミクロ経済論研究（春、水2）国際経済論研究（秋、水2） 修士一年生指導、修士二年生論文指導、審査（主査、副査）</p>
研究分野	人的資本、国際貿易、環境
所属学会	日本経済学会 日本国際経済学会 日本経済政策学会

学会および社会における主な活動
<p>学会： 1) (国際学術研究論文の発表) 論文タイトル：「スポーツ振興とスポーツ選手の収入についての考察」 2021年12月16日 第四屆「後疫情時代下日本與全球政經變遷及影響」國際學術研討會 主辦單位：淡江大學全球政經學系(日本政經研究碩士班)、日本關西大學綜合情報學部 2) 日本国際経済学会 (ZOOM) の参加 (関東支部、関西支部、中部支部) 5月14日、5月21日、6月18日、7月23日、9月3日、12月10日、1月7日</p> <p>社会活動： 新聞コラム執筆 2022年4月17日「人才、人材、人財(4-1)」-金庸笔下《射雕》的各种人才- 星洲日報記事 2022年4月24日「人才、人材、人財(4-2)」-除了专才，更要通才- 星洲日報記事 2022年5月1日「人才、人材、人財(4-3)」-不分种族，不计恩怨，只看能力- 星洲日報記事 2022年5月8日「人才、人材、人財(4-4)」日-人财两得还是人财两失？- 星洲日報記事</p> <p>文学賞最終候補： 2022年9月16日 『芙蓉花開時』2022年16届华踪文学奖 最終入選作品</p> <p>活動内容 (社会貢献ボランティア活動) 鶴ヶ島市上広谷中央自治会会長(2021年4月～2022年3月、2022年4月～2023年3月) 鶴ヶ島市上広谷中央公民館館長(2022年4月～2023年3月)</p> <p>(一般講演) 一般講演会(オンライン) 2022年5月7日 23:00～0:30 Hello 馬來西亞 「馬幣疲軟的原因和影響」日本經濟給我們的啟示和影響</p> <p>一般講演会(対面) 2022年7月27日 鶴ヶ島ロータリークラブ 『客家魂』</p> <p>学校講演 (ZOOM) 2023年2月11日 (土) 芙蓉中華中學：「中學學什麼？」</p> <p>(ラジオ出演) 2022年7月1日 Sarawak Radio TFM 17:00～record 2022年8月11日 Sarawak Radio TFM 15:00～record 2022年11月19日 Durian FM マレーシア総選挙特集番組ゲストスピーカー～LIVE</p>
<p>主要研究業績 1) 『スポーツ振興とスポーツ選手の収入についての考察』(単著) スポーツマネジメント研究紀要第2号掲載、発刊済み 2) 『技能形成と環境財の生産-公共教育の役割』-(莊 発盛、杉山泰之)、台湾淡江大学政經國際學術研討會 (2020)、2021年発刊済み 3) 『公的教育が賃金格差に与える影響』(単著)國際學術研討會論文集 淡江大學日本政經研究所/日本關西大學(2022) 4) 『1,2-二氯丙烷的简化检测法和吸附热解吸针的应用』(学術論文翻訳・校閲) 分析化学进展 (2022) 5) 『Skill Formation and the Production of Environmental Goods: The Role of Public Education (Fatt Seng CHONG and Yasuyuki SUGIYAMA) The International Economy (2023)』</p>
<p>文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績</p>
<p>特になし</p>

氏名	職名	学位
真下 英二	教授	修士（法学）

担当科目	現代社会と政治、政治学の基礎、政治学Ⅰ、政治学Ⅱ、政治学概論、日本政治論、地方自治論、まちづくり政策論、地方自治研究（大学院）
研究分野	政治学、地方自治、日本政治
所属学会	日本政治学会、日本選挙学会、日本行政学会、日本法政学会、日本経済政策学会、慶應法学会

学会および社会における主な活動	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本選挙学会理事</li> <li>・ 日本政治学会文献委員</li>   <li>・ 川越市協働事業審査委員会委員</li> <li>・ 川越市教育委員会点検評価懇話会委員</li>   <li>・ 特定非営利活動法人こども大学かわごえ理事長</li> </ul>	
主要研究業績	
堀江湛『政治分析から政治改革へ』一藝社、2023年（編集委員）	
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績	
なし	

氏名	職名	学位
三野 裕之	教授	政治学修士

担当科目	情報と社会、デジタルメディア論、現代社会とメディア、ソーシャルメディア論、情報倫理と法、コンテンツビジネス論、情報通信政策論、コース演習Ⅰ／Ⅱ、総合演習Ⅰ／Ⅱ、卒業研究Ⅰ／Ⅱ
研究分野	デジタルメディア論、メディア史、コンテンツビジネス論
所属学会	日本メディア学会、情報通信学会、日本出版学会、三田社会学会

<b>学会および社会における主な活動</b>	
なし	
<b>主要研究業績</b>	
研究ノート「日本における情報通信政策の転機に関する一考察 ～1957年のテレビ大量予備免許を中心に～」、『尚美学園大学総合政策研究紀要』第39号（2023年3月）。	
<b>文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績</b>	
なし	

氏 名	職 名	学 位
安 章浩	教 授	修士（政治学）

担当科目	行政学Ⅱ、政治過程論、政策過程論、政治学の基礎、公共政策基礎、比較政治論、総合演習、卒業研究、社会保障論研究、ガバナンス研究、政治学研究、比較政治体制研究
研究分野	行政学、比較憲政体制研究、公共政策学、政治過程論、英国政治・行政研究、ガバナンス研究、公共経営論、日本の行政改革研究
所属学会	日本政治学会、日本行政学会

<b>学会および社会における主な活動</b>	
平成26年まで3年間にわたり、中野区外部評価委員会有識者委員を務め、中野区の行政内部評価に対して、外部評価を行い、区長に結果を報告した。	
<b>主要研究業績</b>	
著書 1、「アメリカ合衆国制定の政治過程」『尚美学園大学総合政策論集』第34号、2022年（単著）  2、「アメリカ合衆国憲法の制定過程（一）」『尚美学園大学総合政策論集』第35号、2022年（単著）	
<b>文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績</b>	
なし	

氏名	職名	学位
上村 博昭	准教授	博士（学術）

担当科目	基礎演習Ⅰ・Ⅱ、コース演習Ⅰ・Ⅱ（経営プランニング）、総合演習Ⅰ・Ⅱ、卒業研究Ⅰ・Ⅱ、地理学、地誌、マップデータビジネス論 など
研究分野	人文地理学、経済地理学
所属学会	日本地理学会、経済地理学会、東京地学協会、日本農業経済学会

学会および社会における主な活動
<p>&lt;学会活動&gt;</p> <p>日本地理学会 総務専門委員 平成30年4月～現在</p> <p>経済地理学会 総務委員 令和2年3月～現在</p> <p>&lt;その他&gt;</p> <p>シティプロモーションアワード 実行委員 令和2年11月～現在</p>
主要研究業績
<p>&lt;著書&gt;</p> <p>上村博昭 『食による地域経済の活性化—食品加工事業の育成と大都市への販売戦略』古今書院、令和5年3月(ISBN: 9784772242318).</p> <p>&lt;紀要論文&gt;</p> <p>上村博昭 『『ふるさと納税』制度の地理的特性に関する一考察』『尚美学園大学 総合政策研究 紀要』39: 25-35. 令和5年3月.</p>
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
なし。

氏名	職名	学位
大西 麗衣子	准教授	修士（教育学）

担当科目	生涯学習論Ⅰ、生涯学習論Ⅱ、生涯学習支援政策論、博物館教育論、教育原理、介護等体験事前指導Ⅱ、教職実践演習、総合演習Ⅰ、総合演習Ⅱ、卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱ
研究分野	教育学（生涯学習学）
所属学会	日本生涯教育学会、日本教育制度学会

学会および社会における主な活動
<p>1. 学会における活動</p> <p>平成14年5月 日本生涯教育学会会員「現在に至る」</p> <p>平成17年5月 日本教育制度学会会員「現在に至る」</p> <p>2. 社会における活動</p> <p>令和3年5月 川越市教育委員会、川越市公民館運営審議会委員「現在に至る」</p> <p>令和3年7月 川越市教育委員会、川越市幼児教育振興審議会委員「現在に至る」</p> <p>令和3年8月 埼玉県教育委員会、埼玉県社会教育委員「現在に至る」</p> <p>令和3年8月 埼玉県教育委員会、埼玉県生涯学習審議会委員「現在に至る」</p> <p>令和3年8月 川越市、川越市障害者施策審議会委員「現在に至る」</p>
主要研究業績
なし
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
なし

氏名	職名	学位
高橋幸裕	准教授	博士（社会学）

担当科目	（学部）社会福祉Ⅰ・Ⅱ、地域福祉論、社会保障論、ボランティア論、基礎演習Ⅰ・Ⅱ、コース演習Ⅰ・Ⅱ、総合演習Ⅰ・Ⅱ、卒業研究Ⅰ・Ⅱ、公共政策演習（社会福祉）、公共政策演習（老人福祉論）、介護等体験事前指導Ⅰ（総合政策学部） （大学院）社会福祉政策研究、総合政策特殊研究（個別研究指導）、総合政策特殊研究（修士論文指導）
研究分野	社会福祉、介護労働論、高齢者福祉政策、終末期ケア、多職種連携
所属学会	社会政策学会、福祉社会学会、日本介護福祉学会、日本グリーン&ビリーブメント学会

学会および社会における主な活動
<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度：公益財団法人日本訪問看護財団「訪問看護師向け在宅看取り教育プログラムの開発」検討委員会委員</li> <li>令和4年度：「日本ホームヘルパー協会・全国ホームヘルパー協議会交流会」コーディネーター</li> <li>令和4年度：みずほリサーチ&amp;テクノロジーズ株式会社「公益財団法人日本財団委託事業2022年度会計監査事業外部評価 一般社団法人ホームホスピス協会における外部評価」アドバイザー</li> <li>令和4年度：公益社団法人日本介護福祉士会「学術推進委員会」委員</li> <li>令和4年9月：同志社社会保険労務士会クローバー会主催「高齢者を支える介護職の働き方と課題－介護労働研究から見えてきたことを中心に－」</li> </ul>
主要研究業績
<b>著書（共著）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年6月：一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟／編集「社会福祉士国家試験模擬問題集2023」＜問題＞p.16、144、145、146、195＜解答＞p.20、182、183、184、185（中央法規出版株式会社）</li> <li>令和4年7月：一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟／編集「精神保健福祉士国家試験模擬問題集2023」＜問題＞p.53、198、221＜解答＞p.64、238、239（中央法規出版株式会社）</li> </ul>
<b>論文（共著）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年11月：角能・林和秀・高橋幸裕・伊藤直子「ターミナルケアにおける職種間関係の考察－看護職・介護職・福祉職の間の認識の齟齬に注目して－」『総合政策論叢』第44号 pp.27-49（島根県立大学総合政策学会）</li> <li>令和4年12月：高橋幸裕・林和秀「高齢者に対する認知症関連政策と認知症ケアが抱える課題」『尚美学園大学総合政策論集』第35号 pp.33-51（尚美学園大学総合政策学部総合政策学会）</li> </ul>
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>高橋幸裕「独立行政法人日本学術振興会 令和2～5年度科学研究費助成事業（若手研究 課題番号20K13772）」継続中</li> <li>高橋幸裕・伊藤直子・角能・林和秀「特定非営利活動法人非営利協働・総合研究所いのちとくらし 2020年度研究助成事業」継続中</li> <li>山本則子東京大学大学院医学系研究科教授代表「文部科学省 令和4年度『成長分野における即戦力人材輩出に向けたリカレント教育推進事業』申請</li> </ul>

氏名	職名	学位
田中 啓太	准教授	博士（経済学）

担当科目	マクロ経済学、経済政策論、労働経済論、経済学の基礎、現代経済と社会、基礎演習Ⅰ・Ⅱ、コース演習Ⅰ・Ⅱ、キャリア演習Ⅰ・Ⅱ、卒業研究Ⅰ・Ⅱ、経済政策研究（大学院科目）
研究分野	L.ロビンズの経済学を中心とした 20 世紀イギリス経済学史の方法論的検討
所属学会	経済学史学会、社会思想史学会、進化経済学会

学会および社会における主な活動
<p>学会活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経済学史学会 大会組織委員</li> <li>・ 進化経済学会 学会活性化委員</li> </ul> <p>学外研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中京大学経済研究所特任研究員</li> </ul>
主要研究業績
<p>学会報告</p> <p>田中啓太・西本和見（順不同）「19 世紀末から 20 世紀初頭における機会費用論——アメリカと LSE での受容と展開」経済学史学会関西西部会第 181 回例会（オンライン）令和 4 年 7 月。</p>
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
<p>平成 30 年度～令和 4 年度（完了）：JSPS 科研費 基盤研究（C）「L.ロビンズの選択理論とアノマリーを巡る 20 世紀初頭の経済学の再考」（課題番号 18K01532）研究代表者</p> <p>令和 5 年度～令和 7 年度（新規採択）：JSPS 科研費 基盤研究(C)「P. H. ウィックステイアの非合理性と経済学体系」（課題番号 23K01323）研究代表者</p>

氏名	職名	学位
畑中 綾子	准教授	博士（社会科学）

担当科目	民法Ⅰ・民法概論Ⅰ、民法Ⅱ・民法概論Ⅱ、民法Ⅲ、公共政策演習Ⅰ（民法Ⅰ）、公共政策演習Ⅱ（民法Ⅱ）、基礎演習Ⅰ・Ⅱ、総合演習Ⅰ・Ⅱ、卒業研究Ⅰ・Ⅱ、大学院「法学研究」演習、大学院「医事法研究」演習
研究分野	民法、医事法、生命倫理
所属学会	日本医事法学会、日本生命倫理学会、法と教育学会、日米法学会、日本私法学会、生活支援工学会、医療の質・安全学会

学会および社会における主な活動
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆順天堂医院「臨床研究審査委員会」委員</li> <li>◆経済産業省「海外渡航者新型コロナウイルス検査センター運営委員会」委員</li> <li>◆滋賀県長浜市・京都大学共同事業「ながはま 1 万人ゼロ次コホート事業」特定非営利法人健康づくりゼロ次クラブ・コンプライアンス委員会委員</li> </ul>
主要研究業績
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆畑中綾子「生活支援技術の開発・導入・普及における法的制度的課題」日本生活支援工学会学会誌 2022.8</li> <li>◆畑中綾子「選択可能な未確立療法と医師の説明義務—乳房温存療法」『医事法判例百選（第3版）』64-65頁、甲斐克則・手嶋豊編・有斐閣、2022.7</li> <li>◆畑中綾子「公立学校のプールの水流出による教職員らの賠償責任——小金井市の都立高校の事例を中心に」月刊高校教育 2022年7月号、(2022.7) 学事出版</li> <li>◆Ryoko HATANAKA “A Legal Consideration of the Process for Deciding the Best Treatment Plan for Severely Disabled Children in Japan” World Congress of Medical Law, Gold Coast, 2022.12.04-7</li> <li>◆「医療事故調査制度に関するインタビュー調査に基づく制度課題の提示—司法への影響に着目して」日本医事法学会 2022.11.27（神戸） ほか2件</li> </ul>
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆トヨタ財団研究助成（国内研究）「医療的ケア児の医療的ケア児の家族の「語り」によるデータベース構築：家族と地域のつながりを生み出す社会的資源として」（研究代表者）5200千円（2020.3～2023.3）</li> <li>◆科学研究費補助金・基盤C「医療的ケア児と家族の支援に向けた法的制度的課題の抽出と制度検討」（研究代表者）4160千円（2020.4～2023.3）</li> </ul>

氏名	職名	学位
御手洗 大輔	准教授	修士（法学）

担当科目	憲法研究、行政法研究Ⅰ、日本国憲法、憲法Ⅰ、憲法Ⅱ、憲法概論Ⅰ、憲法概論Ⅱ、行政法、行政法Ⅰ、行政法概論、法学の基礎、地方自治法、地方自治法概論、キャリア演習Ⅰ、キャリア演習Ⅱ、キャリアプランニング基礎（公務員試験対策）
研究分野	法学
所属学会	

学会および社会における主な活動
Social Portal China「中国の法律事情」（国立研究開発法人科学技術振興機構）へコラム寄稿 ・令和4年11月「個人事業主と失業・就職難」
主要研究業績
教科書 <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年7月拙著『法学入門(第2版)』デザインエッグ社</li> <li>・令和4年10月拙著『法学入門Ⅲ』デジタルエッグ社</li> <li>・令和5年2月拙著『法学入門Ⅱ(第2版)』デザインエッグ社</li> </ul> 論文 <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年12月拙著「行政処分の現代的意義に関する一考察」『総合政策論集』35号</li> </ul>
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
なし